

岩手県感染症週報

平成26年第2週(1月6日～1月12日)

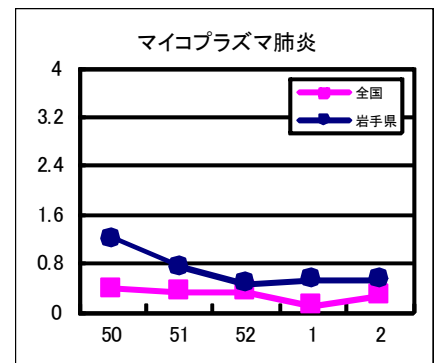
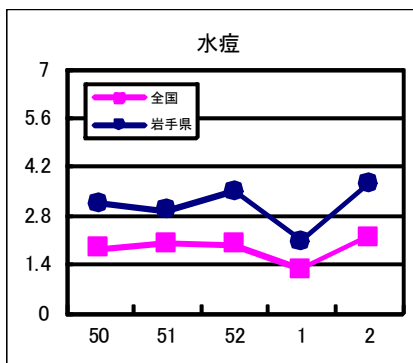
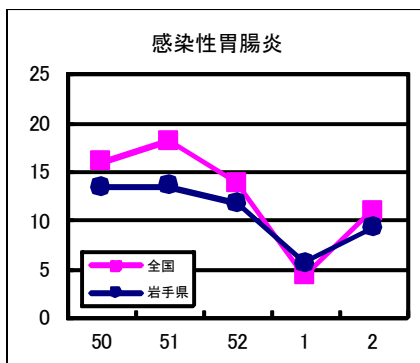
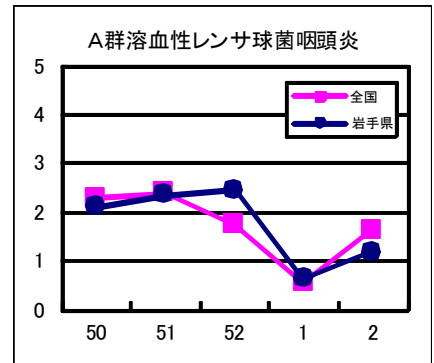
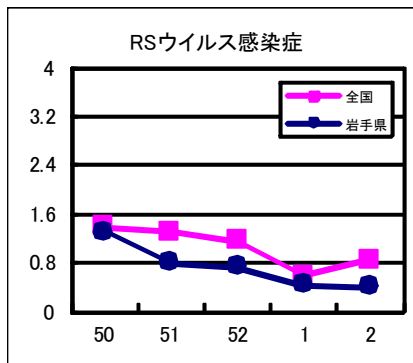
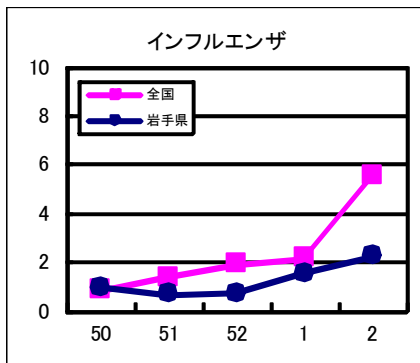
岩手県感染症情報センター

第2週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が7例ありました。そのうち潜在性結核患者は2例です。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症の報告が、二戸地区より1例ありました。患者は60歳代の男性です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・梅毒の報告が1例ありました。
 - ・侵襲性肺炎球菌感染症の報告が、釜石地区より1例ありました。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・水痘(みずぼうそう)は、久慈および二戸地区で警報値(定点あたり患者数7人)を、盛岡市および一関地区で注意報値(同4人)を超えています。潜伏期間は2週間前後で、掻痒感を伴う全身性の発疹、倦怠感、発熱が主症状です。感染経路は飛沫・空気・接触感染で、発疹出現の1～2日前から痂皮化するまで感染性があります。予防には、任意ですがワクチン接種が有効です。
 - ・インフルエンザは、例年に比較して報告数の少ない状況で推移していますが、前週より増加し10地区すべてから報告がありました。県環境保健研究センターでのウイルス検査では、A香港型および、A/H1N1(2009)が検出されています。予防には、帰宅時の手洗い、咳エチケット(咳やくしゃみを人に向けてしない、マスクをする)などが重要です。また、感染が疑われる場合には早めに医療機関を受診することも重要です。
 - ・感染性胃腸炎は、1月に入ってからノロウイルスによる集団感染事例が7例発生しています。引き続き、石けんと流水による手洗いや、患者の便や吐物の適切な処理などの予防対策が重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		50	51	52	1	2		
インフルエンザ	岩手県	0.98	0.67	0.7	1.53	2.22	↗	☆
	全国	0.82	1.39	1.9	2.16	5.51		
RSウイルス感染症	岩手県	1.3	0.8	0.73	0.43	0.4	→	☆
	全国	1.39	1.3	1.16	0.59	0.84		
咽頭結膜熱	岩手県	0.15	0.28	0.33	0.28	0.2	→	☆
	全国	0.73	0.8	0.7	0.24	0.52		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.1	2.35	2.45	0.63	1.18	→	☆
	全国	2.28	2.38	1.74	0.55	1.62		
感染性胃腸炎	岩手県	13.38	13.53	11.8	5.6	9.18	↗	☆
	全国	15.92	18.07	13.86	4.26	10.96		
水痘	岩手県	3.13	2.95	3.48	2.05	3.7	↗	☆☆
	全国	1.85	2	1.96	1.25	2.17		
手足口病	岩手県	0.3	0.3	0.13	0.05	0	→	
	全国	0.41	0.36	0.24	0.08	0.09		
伝染性紅斑	岩手県	0.28	0.43	0.18	0.08	0.23	→	☆
	全国	0.09	0.1	0.08	0.03	0.13		
突発性発疹	岩手県	0.4	0.43	0.38	0.18	0.5	→	☆
	全国	0.5	0.47	0.41	0.15	0.46		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0	0	0	0.03	→	
	全国	0.04	0.03	0.03	0.01	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.75	0.8	0.63	0.38	0.63	→	☆
	全国	0.26	0.29	0.23	0.15	0.31		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.07	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.5	0.79	0.64	0.5	0.36	→	☆
	全国	0.67	0.71	0.66	0.23	0.85		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0.05	→	
	全国	0.03	0.04	0.04	0.02	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.21	0.74	0.47	0.53	0.53	→	☆
	全国	0.39	0.33	0.33	0.1	0.27		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.03	0	0.03		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0.11	0.05	0.05	0.05	→	
	全国	0.04	0.08	0.05	0.07	0.08		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	3	0	12	5	10		
	全国	43	72	79	164	292		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
2013年10週より対象疾患になりました。 (患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		50	51	52	1	2	累計	2	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	3 (0)	4 (2)	5 (2)	0 (0)	7 (2)	7 (2)	356	399
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	2
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	0	0	6	8
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	1
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	2
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	7	11
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	3
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	2
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	2	0	0	1	1	20	34
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	1
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ (H7N9) が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		50	51	52	1	2		2	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	1	0	0	0	0	0	11	12
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	3
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	4	9
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	4
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	13	15
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	4	13
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	1	1	43	61
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	3	3
	梅毒	0	0	0	0	1	1	13	16
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	1
	風しん	0	1	0	0	0	0	7	10
麻しん	0	0	0	0	0	0	11	16	
指定	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

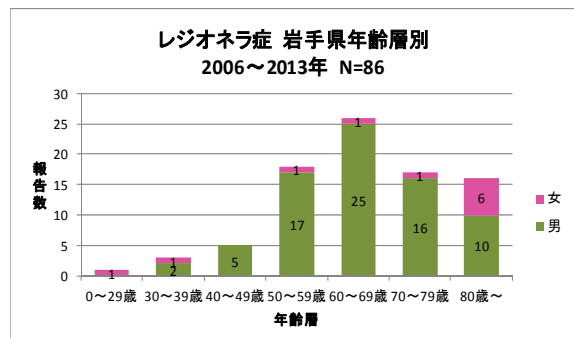
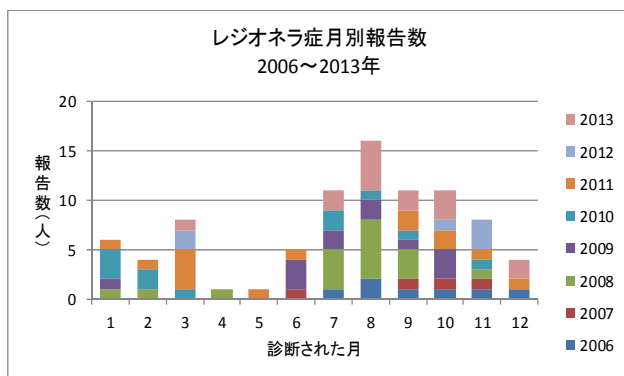
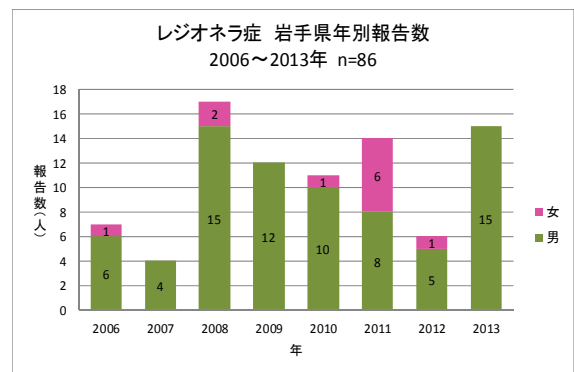
レジオネラ症

レジオネラ症とは、細胞内寄生性のレジオネラ属菌による感染症です。菌は経気道感染して、肺胞マクロファージに侵入し増殖します。病型には肺炎型と感冒様のポンティアック熱型があります。レジオネラ肺炎は他の細菌性の肺炎と区別が困難で、適切な抗菌薬の投与がない場合、急速に全症状が悪化する例があるので注意が必要です。治療には、キノロン系やマクロライド系の抗菌薬が有効です。

岩手県では、2006年から2013年までに86例の報告がありました。2013年は15例の患者の報告があり、8年で2番目に多くなっています。

性別では男性が多く75名 (87%) でした。年齢層別では50歳以上が多く、その中でも60歳代の報告数が一番多くなっています。

月別報告では、8月が一番多く、夏から秋にかけて報告が多くなっています。



今注目の感染症（つづき）

インフルエンザ

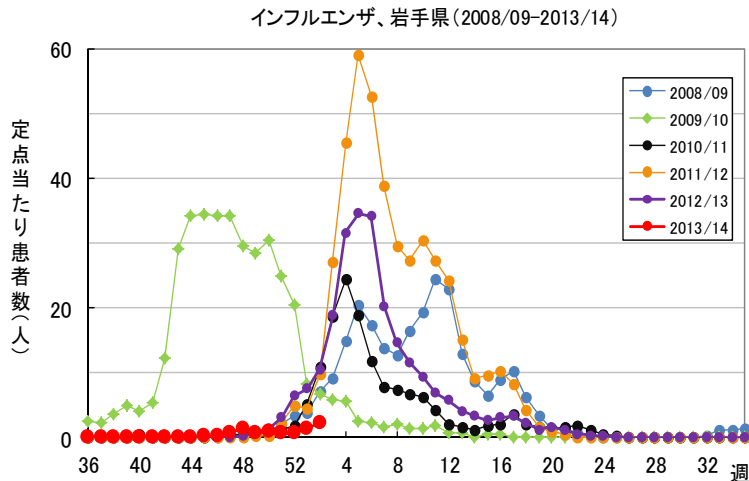
インフルエンザは、第48週で県全体で定点あたり患者数1.36となり、流行の開始の指標である1.0人を超え、インフルエンザの流行シーズンに入りました。第49週から第52週まで1.0を下回り、報告数の少ない状況で推移していましたが、平成26年第1週には1.53、第2週には2.22と増加しました。

インフルエンザの症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。かかったかなと感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。

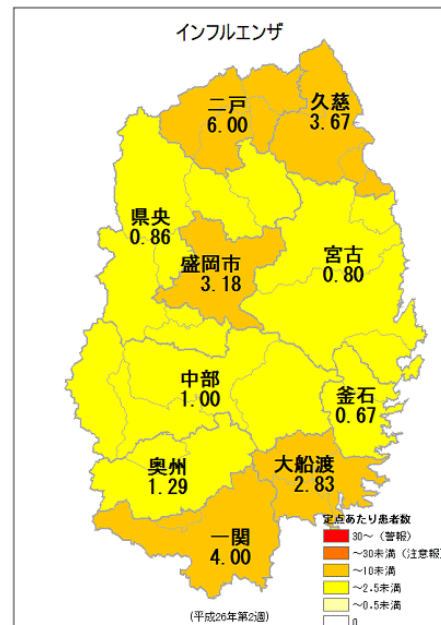
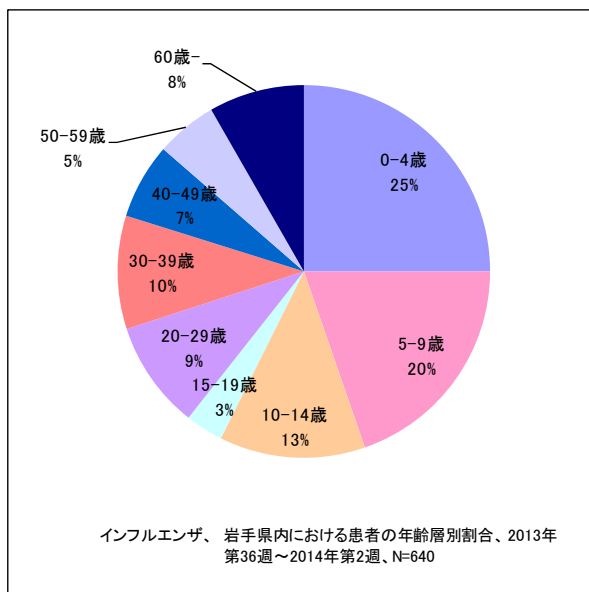
予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット（咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けた時はすぐに手を洗うなど）、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。ワクチンは接種後2週間で効果が現れることから、流行拡大前の早めの接種が勧められます。

県環境保健研究センターで実施しているウイルス検査では、A香港型およびA/H1N1（2009）が検出されています。また、全国では、A香港型が多く、次いでA/H1N1（2009）、B型が検出されています。

厚生労働省インフルエンザQ&A <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>



報告週の対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>



今注目の感染症 (つづき)

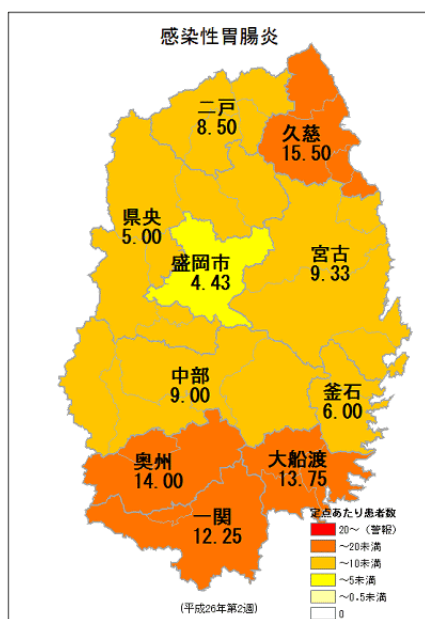
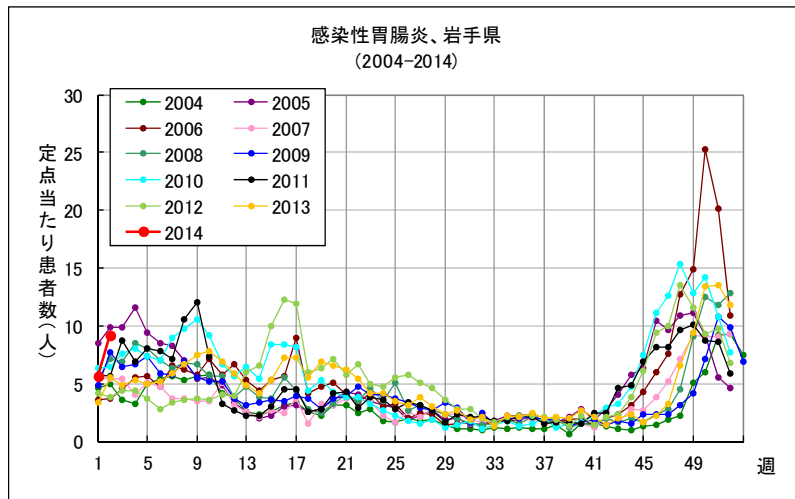
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスはロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では患者からは、流行の全般はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

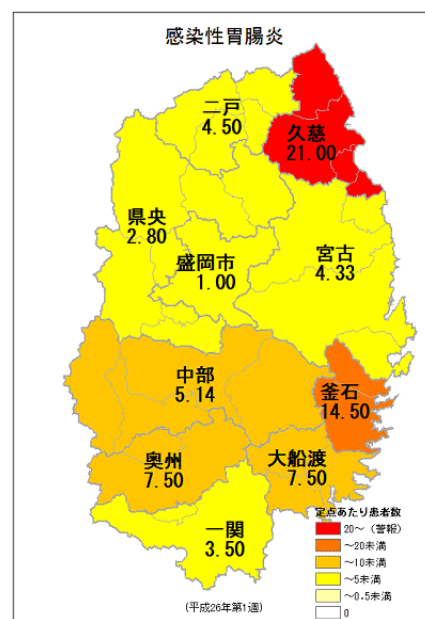
感染性胃腸炎の報告数は、例年、10月頃から増加し12月にピークを迎えますが、今年は11月下旬より急激に増加し、12月、1月でノロウイルスによる集団感染事例が、保育園や老人福祉施設で27例発生しています。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です、感染力が強いので、保育園や幼稚園などの集団生活の場では注意が必要です。予防には、石けんと流水を用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>



第2週



第1週

病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

- ・大船渡市内の障害福祉サービス事業所（利用者数87名、職員数26名）
1月5日（日）から1月10日（金）にかけて、21名（利用者15名、職員6名）に症状（嘔吐、下痢等）
有症者2名（利用者1名、職員1名）からノロウイルスを確認
- ・陸前高田市内の保育所（児童数40名、職員数13名）
1月4日（土）から1月12日（日）にかけて18名（児童14名、職員4名）に症状（嘔吐、下痢等）
有症者4名（児童2名、職員2名）ノロウイルスを確認
- ・北上市内の介護老人ホーム（利用者数90名、職員数65名）
12月30日（月）から1月13日（月）にかけて、18名（利用者17名、職員1名）に症状（嘔吐、下痢等）
有症者7名（利用者7名）からノロウイルスを確認
- ・盛岡市内の保育園（児童数130名、職員数27名）
1月9日（木）から1月16日（木）にかけて18名（園児16名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
有症者4名（園児4名）からノロウイルスを確認
- ・盛岡市内の通所介護事業所
1月3日（金）から1月15日（水）にかけて10名（利用者8名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
有症者3名（利用者2名、職員1名）からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（1月11日～1月16日発表分）

- ・岩手県および盛岡市からの発表はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

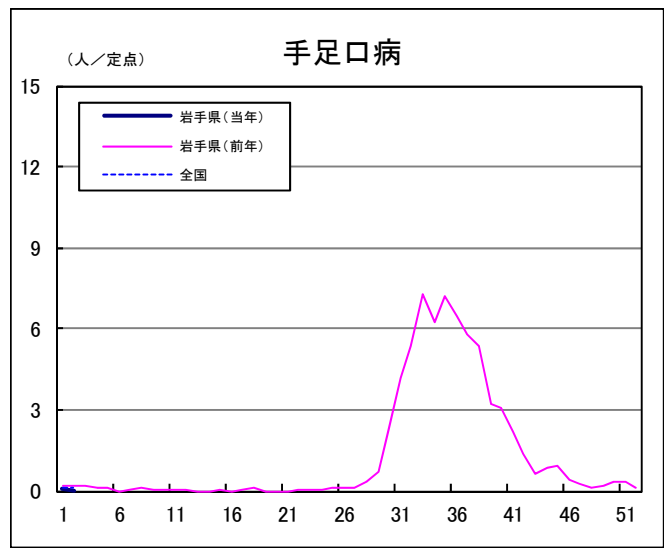
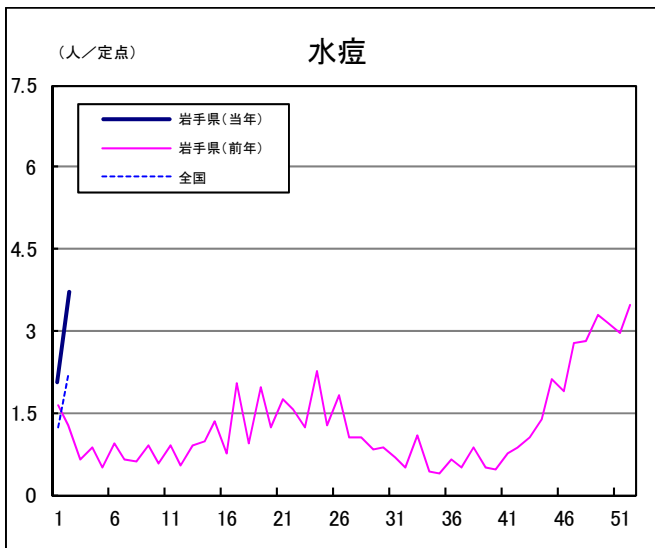
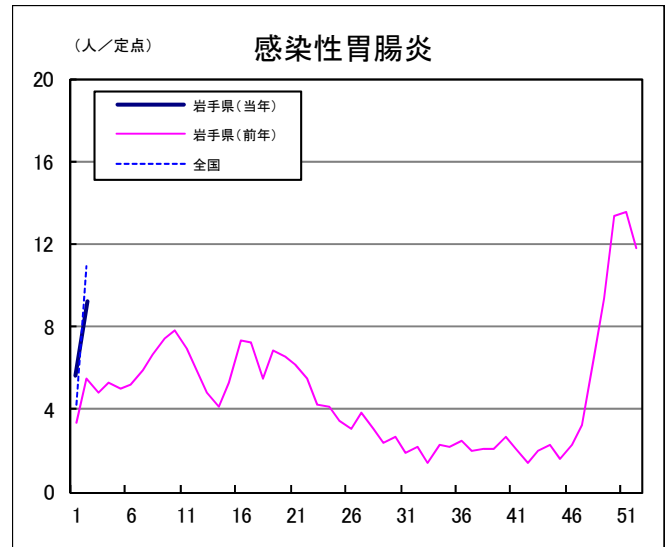
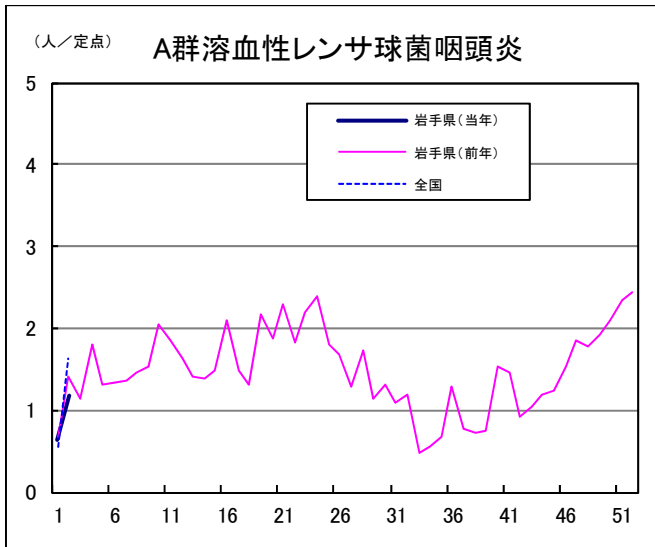
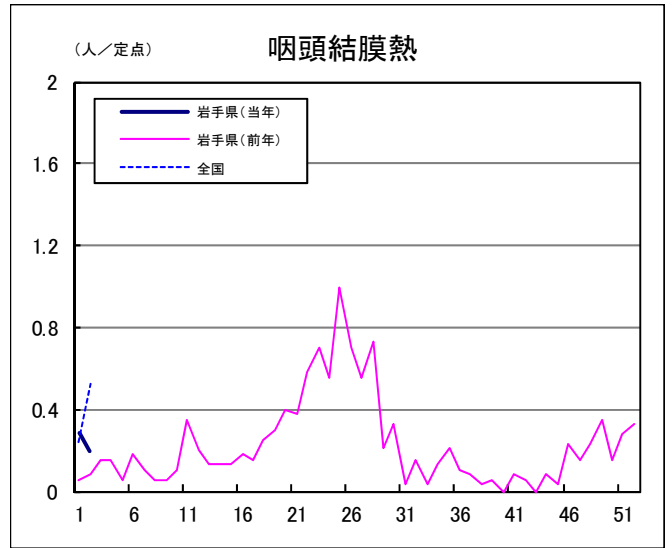
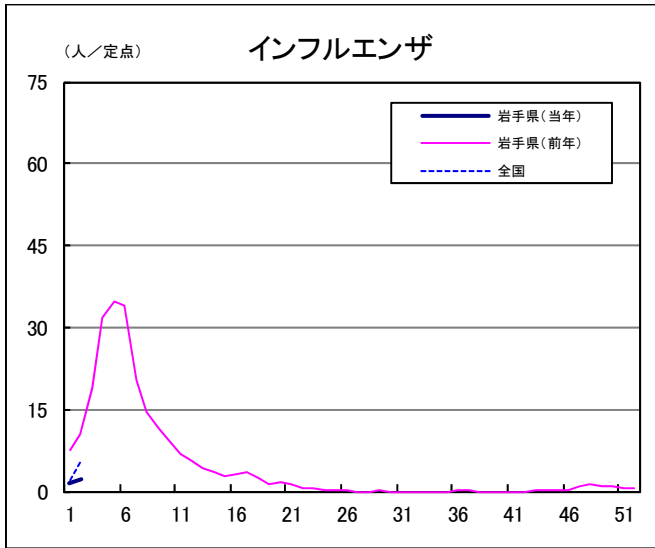
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

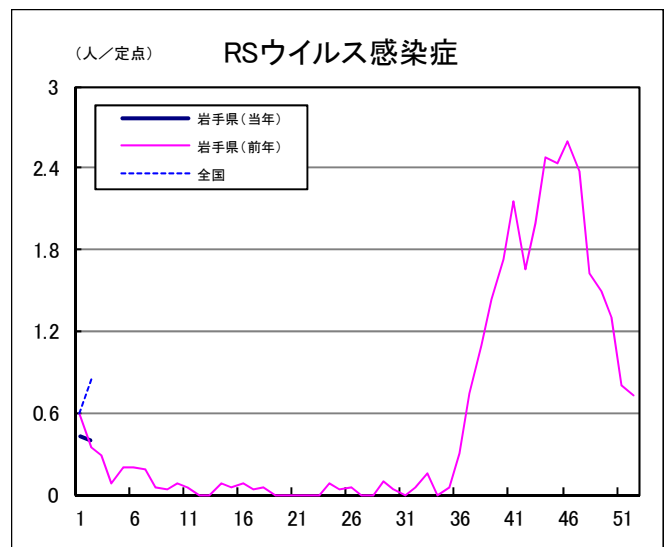
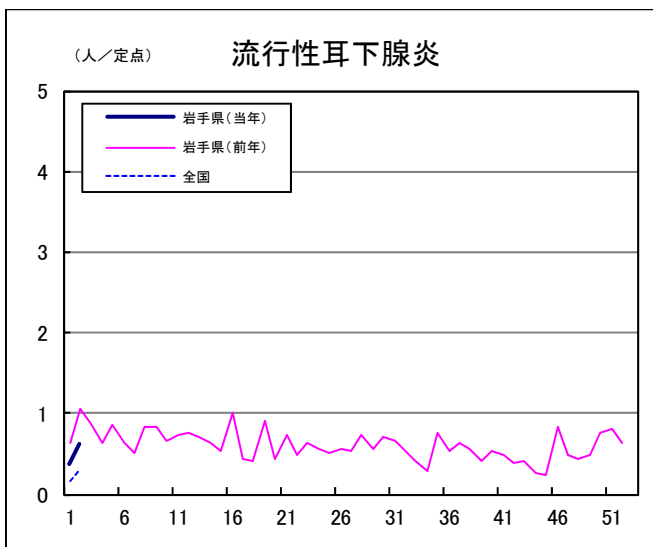
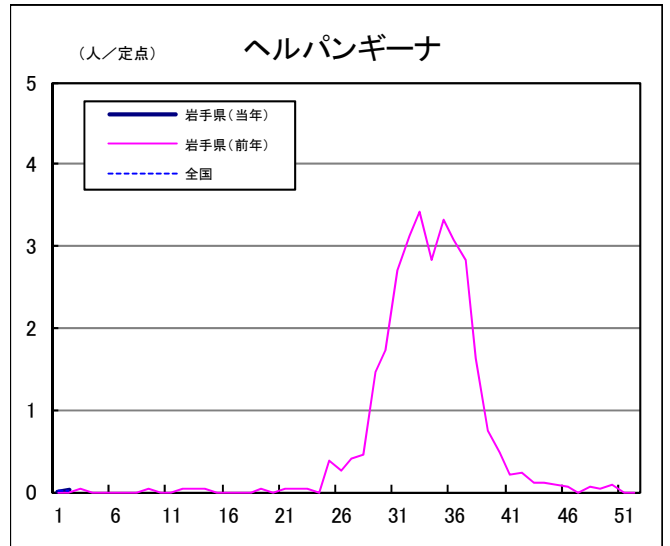
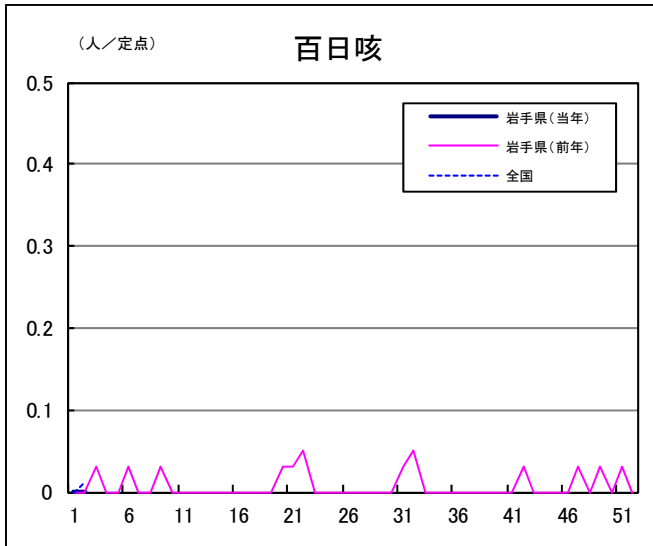
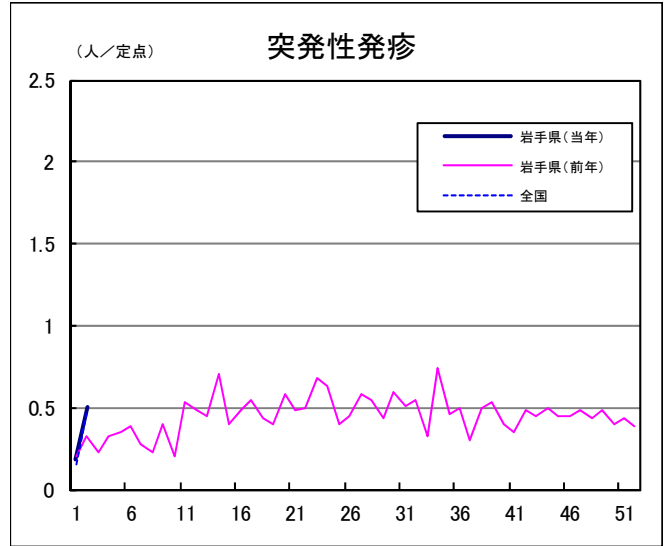
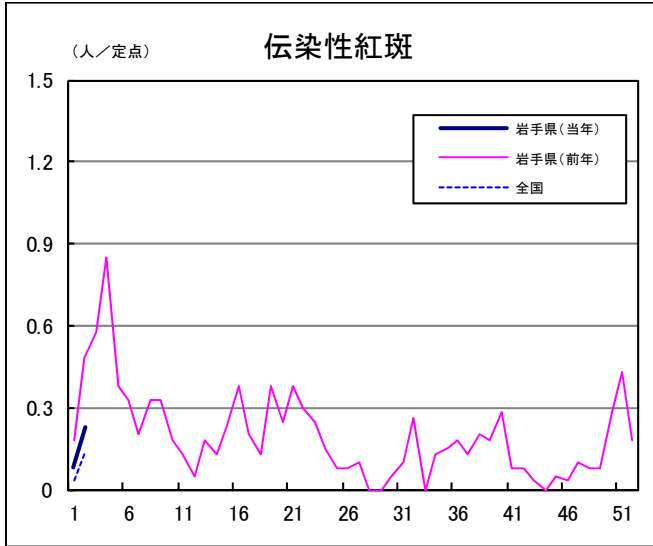
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

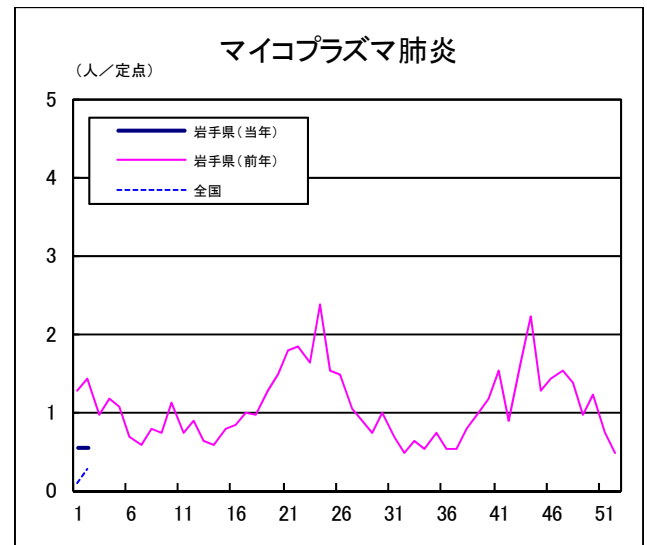
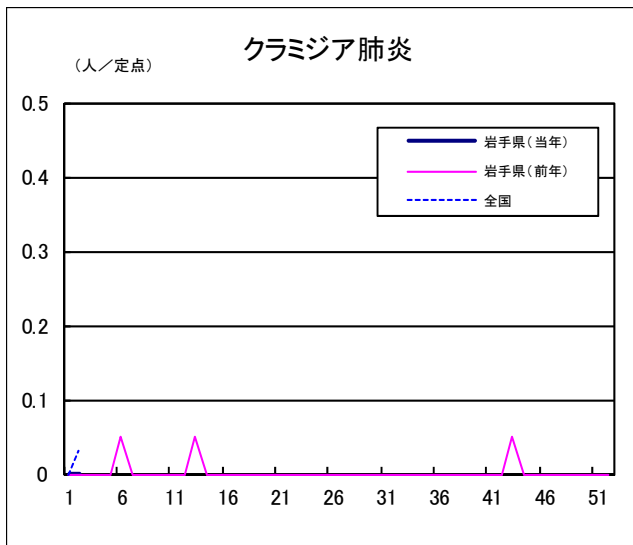
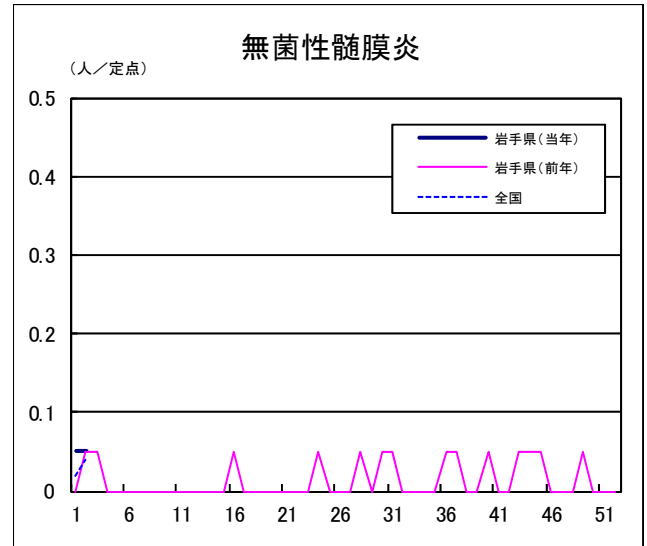
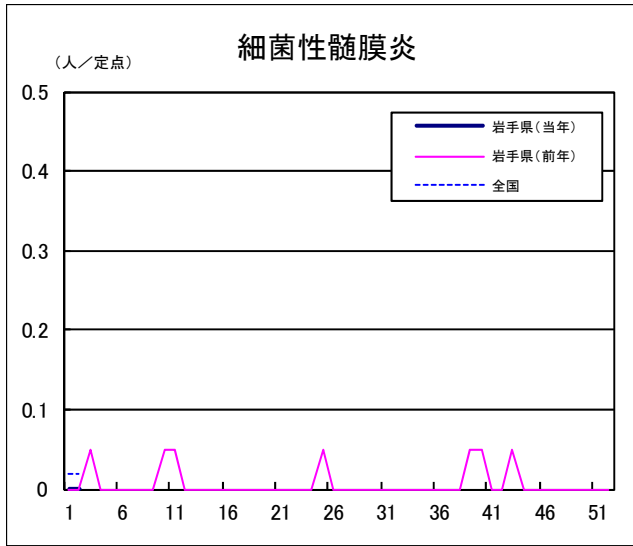
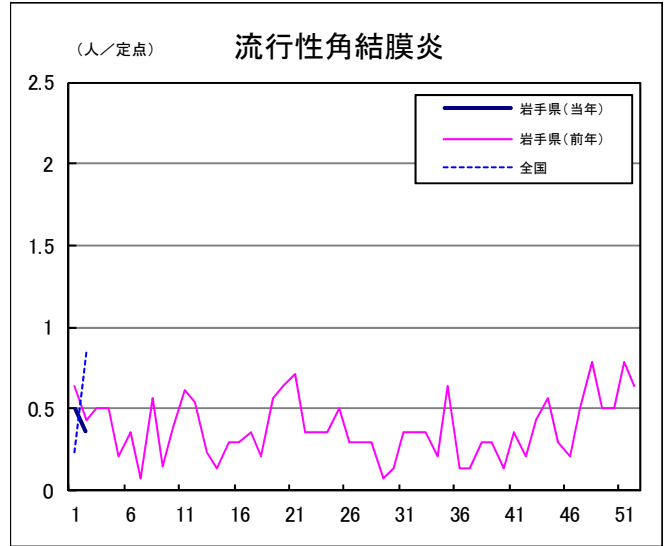
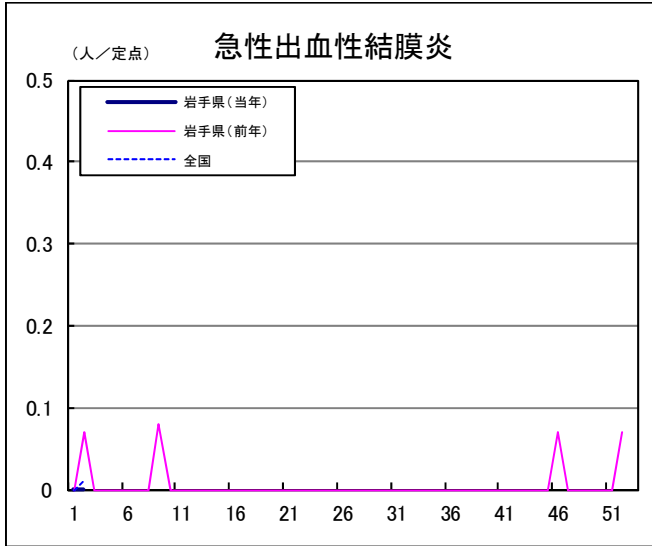
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成26年第2週 平成26年1月17日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>